

ダイダンの120年 価値創造の あゆみ

人が集まり、活動する空間に、高度な技術で快適を提供し続ける総合設備工事業。
当社では一世紀以上にわたり、そのノウハウや、お客さまからの信頼を積み上げてまいりました。
これらの蓄積をベースとしつつ、当社はこれからも、人と地球の新しい関係を築いていきます。

工業生産の勃興を視野に1903年大阪で創業

- 1903(明治36) 創業者の菅谷元治が、大阪市北区壱屋町に工業生産に必要な機械、電気器具、鉄材等の販売を手掛ける菅谷商店を開業
- 1906(明治39) 菅谷商店と同じ大阪市北区壱屋町に、「村井菅谷営業事務所」を開き、暖房工事業に進出
- 1907(明治40) 日露戦争を契機とする日本の重工業が重きをなす時代の転換期を迎えており、電気利用も本格化の兆しを見せていたことから、電気工事業を専業とし、商号を大阪電気商会と改める
- 1909(明治42) 電気、暖房ともに業務が繁忙になり人員も増えたため、大阪市西区江戸堀南通一丁目(前の本店所在地)に事務所を移転
- 1912(明治45) 名古屋、東京に出張所を開業(1921年に支店に昇格)

大阪暖房商会を新たに発足、総合設備工事業として伸長

- 1915(大正4) 「村井菅谷営業事務所」の営業権を譲り受け、新たに「大阪暖房商会」を発足
- 1918(大正7) 第一次世界大戦の大戦景気で業容が拡大し、「大阪電気商会」と「大阪暖房商会」を統合。
“社名を人の記憶に残すことが秘訣だ”との創業者の考えにより、長い社名の「合資会社大阪電気商会大阪暖房商会」を設立

ビルの大型化、産業施設の高度化に対応

- 1933(昭和8) 「株式会社大阪電気商会大阪暖房商会」を設立
- 1962(昭和37) 社是を制定「真剣努力、思考創造、協力和合、信義礼節、誠実感謝」
- 1965(昭和40) 「大阪電気暖房株式会社」に商号変更
- 1968(昭和43) 先端技術の導入と蓄積のため技術本部を新設
- 1973(昭和48) 大阪支店の現業部門が独立して「大電設備工事株式会社」を設立。
この後、1976年にかけて9社が独立し、関係会社を設立
- 1975(昭和50) 大阪証券取引所市場第2部に上場
- 1976(昭和51) 今も生き続ける企業キャッチフレーズ「光と空気と水を生かす」が誕生

現在のサステナビリティの理念につながる、生命活動に不可欠な光、空気、水を扱う高い社会性を持った企業であること、そして、電気、空調、給排水衛生の各部門をバランスよく展開する企業であることを表している

主な施工物件



海外事業の開拓

- 1977(昭和52) 6月に海外事業部を設立、同年8月にシンガポールに駐在員事務所を設置
- 1979(昭和54) シンガポール駐在員事務所を支店に昇格
- 1981(昭和56) 大阪証券取引所市場第1部に指定替え
- 1983(昭和58) 現在地(大阪市西区江戸堀)に本店ビルを建設

先端設備技術の研究開発を強化

- 1984(昭和59) 埼玉県入間郡三芳町に技術研究所を建設
インテリジェントビル、クリーンルーム対応の研究開発を推進
- 1987(昭和62) 4月「ダイダン株式会社」に商号変更
- 1993(平成5) 東京証券取引所市場第1部に上場
- 2003(平成15) 創業100周年

脱炭素社会への対応、再生医療の事業化推進、海外事業の拡大

- 2016(平成28) エネフィス九州®(九州支社)建設。BCPの観点からの支社ビルの建替えに合わせ、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化を実証する施設として建設
- 2017(平成29) 再生医療分野の産業化への貢献を目指したオープンイノベーションを進めるためオープンラボ「セラボ殿町」を開業
- 2019(令和1) エネフィス四国®(四国支店)建設。完全「ZEB」(再生可能エネルギーを活用し100%エネルギー削減)を達成する
- 2020(令和2) 2月 再生医療の関連事業を推進する子会社「セラボヘルスケアサービス株式会社」を設立
10月 ベトナム・ハノイ市に子会社「DAI-DAN (VIETNAM)」を設立
- 2021(令和3) 5月 エネフィス北海道®(北海道支店)を建設。寒冷地での完全「ZEB」を達成する
9月 東南アジアの将来の拠点とすべく、シンガポールに現地法人「DAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.」を設立
11月 台湾に子会社を設立
- 2022(令和4) 5月 北陸支店を建替え、木材(CLT)を活用し、「伝統」と「革新」の融合した次世代オフィスを実現する
- 2023(令和5) 創業120周年を迎え、コーポレートロゴを刷新する

主な施工物件

